

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1502
施設名	目黒天空ちとせ保育園
施設所在地	目黒区東山2-7-14
法人名	社会福祉法人 ちとせ公会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然(食育)
光
色・形
文化

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

目黒天空保育園の周辺には公園がたくさんあり、季節の草花や昆虫などに興味を持つ子どもの姿が見られていた。昨年度も自然をテーマに探索活動を行っていたので、2年目も引き続き自然をテーマにすることで経験が積み重なっていくのではないかと考えた。また、食育や色光形、文化のテーマとも内容が重なる部分があり、食育で野菜を育てることが自然とつながっていたり、自然から探究活動が派生し、光や色に気づく子どもたちの姿もあると考え、大きく4つのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4月から3月までの期間で保育者が準備した道具や環境の中で子どもたちの興味や関心に応じて活動が展開された。その中では、子どもたちのアイデアで活動が展開されることもあった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・季節の草花・容器や調理器具(すり鉢や鍋、お玉やれんげなど)、昆虫飼育に必要な土、飼育ケースなどを準備した。
- ・光を題材にした影絵を鑑賞したり、世界の音に触れてみようというテーマでウクレレやスティールパンなどの楽器のコンサートを開催した。
- ・自然では芋ほりを通して、さつまいもの食べ比べを行ったり、掘ってきたさつまいもを使って子どもたちのアイデアから芋煮会を計画し、家族や他クラスの友達にふるまった。
- ・少人数のグループで、子どもたちのアイデアや子どもたち同士が会話をし、選択したり決定しながら主体的に活動が展開していくよう環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・自然…草花遊びの講師をお招きし、草花をすりつぶして色水を作ったり、草花を使った遊びを教わりながら一緒に楽しんだ。活動をきっかけに園庭遊びでも落ち葉を用いてままごとをしたり、花が咲いているのを見て「この花は色水できるかな」と話す姿が見られた。

・自然…生活の中で子どもが見つけた昆虫の観察をしたり、カブトムシの幼虫の飼育を通して、毎日世話をすることを楽しみにしたり、生き物を飼育に責任感を持って取り組む様子があった。幼虫が成虫になった時の子どもたちの嬉しそうな表情が印象的であった。活動は子どもたちが園庭や戸外で遊んでいる時に発見したり、子どもたちの気づきによって偶発的に行われることも多かった。

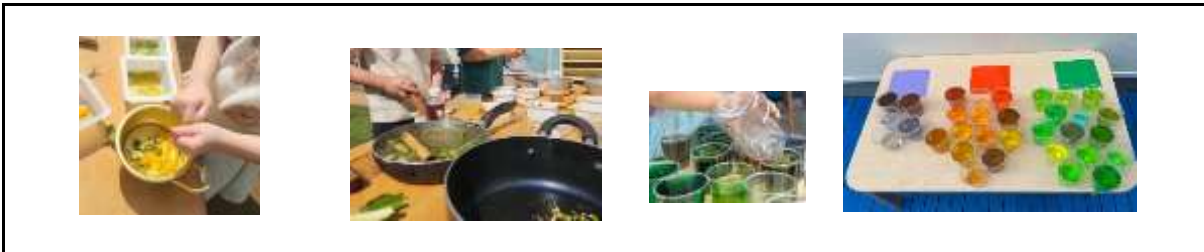
・色・光…自然に関する活動を行う中や色水遊びを行った際に色の変化や光に透かすと違った見え方をすることに気づき「きれいだよ」「どうやったの?」「やってみる」「もっとやりたい」と子どもたち同士で会話をしながら探求する様子が見られた。また影絵鑑賞が印象に残った様子で「どうやってたんだろ?」と考察する様子もあった。

・文化…世界地図、国旗に関する絵本を準備すると国旗を真似て描く様子が見られた。そこから、運動会の万国旗を描く活動へと発展していき、給食を通して世界の食事に興味を示す様子があった。「今日はドイツの給食なんだって」と楽しみにする様子も伺えた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

草花遊びで花をすり潰して「うわ～、黄色い色が出てきた!」と驚く姿。友達同士で「こっちは何色になるかな?」と試してみる姿。気づいたことやもっと試してみたいことを保育者に「もっとやりたい!」「じゃあ、こうしてみよう!」などのアイデアを受けて、じっくり探究活動に取り組めるよう時間配分を行ったり、子どもたちのアイデアから活動に向け道具を準備したり、活動を展開させていった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの会話に耳を傾けたり、子どもたちが主体的に探求、活動を発展させていくにはしていくために保育者がどのようなかわり方をしていくかを振り返ったり、考える機会になっている。また、子どもの言動の背景をエピソードで考察し、肯定的に捉えようとする保育者が増えているように感じる。